

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年8月9日

**【四半期会計期間】** 第91期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** サイボー株式会社

**【英訳名】** Saibo Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 飯塚 剛 司

**【本店の所在の場所】** 埼玉県川口市前川1丁目1番70号

**【電話番号】** 048-267-5151(代表)

**【事務連絡者氏名】** 専務取締役 藤 井 孝 男

**【最寄りの連絡場所】** (東京支店)東京都中央区日本橋人形町1丁目2番6号

**【電話番号】** 03-3667-5771(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役東京支店支店長 飯塚 豊

**【縦覧に供する場所】** サイボー株式会社東京支店  
(東京都中央区日本橋人形町1丁目2番6号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第90期 第1四半期 連結累計期間	第91期 第1四半期 連結累計期間	第90期
		自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	2,248,293	2,051,644	8,477,513
経常利益	(千円)	359,995	336,011	1,312,265
四半期(当期)純利益	(千円)	215,351	183,343	494,040
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	160,207	153,399	498,616
純資産額	(千円)	14,009,871	14,317,344	14,257,707
総資産額	(千円)	26,649,546	25,768,909	25,498,952
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	16.13	13.73	37.00
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)		13.70	37.00
自己資本比率	(%)	45.4	49.1	49.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	134,716	640,890	158,801
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	33,996	117,048	781,336
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	162,704	164,830	461,991
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	2,471,114	3,322,085	2,963,074

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第90期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等が行われておりません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復旧・復興が進む一方で、電力供給不安や原油高などによる景気先行きの不透明感が残るものの、この4月には日銀によるデフレ脱却に向けての「異次元緩和」、政府による「経済の成長戦略」等が発表され、大幅な円安による輸出企業の業績回復や株式市況の上昇など景気への明るい兆しが見え始めました。そのような中で、失業率の改善や個人消費の緩やかな回復が見られるものの、当社グループにおける事業環境は、急激な円安による仕入れコストの増加や法人需要の回復の遅れから引き続き厳しい状況で推移いたしました。

#### 繊維事業

原系販売は、長期化した円高による生産の海外移転が進み市況は低迷を続ける中で、産業用レーヨンフィラメント系やスパンポリエステル系の販売は伸びたものの、大幅な円安による仕入れコストの上昇により、主力の輸入ポリエステル系やアクリル・スフの紡績系が大幅な減収となりました。

アパレル関係は、引き続き地元企業との直需取引を開拓、百貨店取引も堅調に推移したことから、法人ユニフォーム、スポーツ関連商品、販促用ノベルティなど大幅な増収となりました。

カジュアル縫製品関係は、自社企画商品ユミカツラ（桂 由美ブランド）と当社パーソナルブランド（ミュゼ ジョワイユ）の百貨店販売は順調に拡大しているものの、量販店向け自社企画商品の卸売りや他社ブランドのOEM受注を縮小したため大幅な減収となりました。

刺繍レースを扱う栃木サイボー(株)は、刺繍レースファッションの人气が続いており、刺繍使いの商品の企画販売に注力して僅かな増収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は9億80百万円(前年同期比5.6%減)となり、営業損益は前年同期比16百万円減少して10百万円の損失となりました。

#### 商業施設賃貸事業

「イオンモール川口前川」は、集客面においては近隣大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるという利便性がお客様に評価されており、引き続き安定した収益基盤を維持しております。また、二つの大型商業施設の修理費用が減少したことから増益となりました。

この結果、商業施設賃貸事業の売上高は5億68百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は3億6百万円(前年同期比12.1%増)となりました。

#### ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)の「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は、子供ゴルフ教室の人气に見られ

る若年入場者の増加傾向が続いているものの、近隣の同業他社のリニューアルオープンの影響から入場者が減少して減収となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は2億46百万円(前年同期比6.1%減)、営業利益は33百万円(前年同期比37.0%減)となりました。

#### その他の事業

その他の事業においては、埼玉興業(株)の自動車教習所事業は、現在の在校生が卒業した時を持って当期中の学校閉鎖を決定しており、大幅な減収となりました。

自動車板金塗装修理事業は、平成25年4月1日付でネットヨタ東埼玉(株)の100%子会社(株)NTワークスに事業移管いたしました。

ギフト事業部営業課の慶弔ギフト品販売は、長引くデフレ経済を背景に社会不安による儉約や節約意識が高まり、低価格化や小口化が進んでいるものの、受注件数を増加させて増収となりました。ディアグリーン課の緑化事業も同様の背景から、主力のレンタル事業は大口レンタル先のコスト削減の影響があったものの新規開拓先への拡販が進み、僅かな増収となりました。

インテリア施工事業の神根サイボー(株)は、一般先工事の増加に努めており、大口物件の完工が四半期末日以降になることから減収となりました。

この結果、その他の事業の売上高は2億55百万円(前年同期比31.4%減)、営業損益は前年同期比64百万円減少して43百万円の損失となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は、20億51百万円(前年同期比8.7%減)、営業利益は2億83百万円(前年同期比19.0%減)、経常利益は3億36百万円(前年同期比6.7%減)、四半期純利益は、自動車教習所事業の事業撤退損を1億5百万円計上して1億83百万円(前年同期比14.9%減)となりました。

## (2) 財政状態の分析

総資産は、有形固定資産の減価償却が進んだことによる減少があったものの、現金及び預金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ2億69百万円増加して257億68百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金や未払法人税等が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ2億10百万円増加して114億51百万円となりました。純資産は前期末の配当金の支払いがあったものの、四半期純利益の計上により前連結会計年度に比べ59百万円増加して143億17百万円となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ3億59百万円増加して33億22百万円となりました。

営業活動により得られた資金は、前第1四半期連結累計期間に比べ7億75百万円増加して6億40百万円となりました。これは主に売上債権の回収や法人税等の支払額の減少等によるものであります。

投資活動により支出した資金は、前第1四半期連結累計期間に比べ83百万円増加して1億17百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が増加したことや、投資有価証券の売却による収入が減少したこと等によるものであります。

財務活動により支出した資金は、前第1四半期連結会計期間に比べ2百万円増加し1億64百万円となりました。これはリース債務の支払額が増加したことによるものであります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,000,000	14,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は 100株であります。
計	14,000,000	14,000,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		14,000		1,402,000		825,348

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 307,300		
	(相互保有株式) 普通株式 703,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,988,300	129,883	
単元未満株式	普通株式 1,000		
発行済株式総数	14,000,000		
総株主の議決権		129,883	

- (注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式2株が含まれております。  
2 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) サイボー(株)	川口市前川1丁目1番70号	307,300		307,300	2.20
(相互保有株式) 埼玉興業(株)	川口市安行領根岸2625番地	703,400		703,400	5.02
計		1,010,700		1,010,700	7.22

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,279,850	3,587,308
受取手形及び売掛金	984,416	898,049
有価証券	310,881	976,382
商品及び製品	591,657	614,391
仕掛品	14,755	20,381
原材料及び貯蔵品	44,240	40,423
その他	268,330	229,096
流動資産合計	5,494,133	6,366,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,065,776	9,927,146
土地	5,294,270	5,294,270
その他（純額）	101,400	173,637
有形固定資産合計	15,461,447	15,395,054
無形固定資産	37,563	32,085
投資その他の資産		
投資有価証券	4,248,541	3,718,368
その他	284,754	284,704
貸倒引当金	27,486	27,336
投資その他の資産合計	4,505,808	3,975,736
固定資産合計	20,004,819	19,402,876
資産合計	25,498,952	25,768,909



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	465,687	579,084
1年内返済予定の長期借入金	210,000	210,000
未払法人税等	12,903	121,237
賞与引当金	75,111	28,254
役員賞与引当金	5,850	1,462
その他	897,611	1,046,907
流動負債合計	1,667,164	1,986,946
固定負債		
長期借入金	805,000	752,500
退職給付引当金	187,783	192,045
役員退職慰労引当金	176,226	180,033
長期預り保証金	7,975,056	7,944,553
その他	430,015	395,486
固定負債合計	9,574,081	9,464,618
負債合計	11,241,245	11,451,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	861,395	861,395
利益剰余金	10,388,889	10,481,307
自己株式	359,818	359,818
株主資本合計	12,292,466	12,384,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257,051	285,647
繰延ヘッジ損益	25,671	21,643
その他の包括利益累計額合計	231,379	264,003
新株予約権	26,332	26,586
少数株主持分	1,707,528	1,641,868
純資産合計	14,257,707	14,317,344
負債純資産合計	25,498,952	25,768,909

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,248,293	2,051,644
売上原価	1,504,500	1,369,414
売上総利益	743,793	682,229
販売費及び一般管理費	394,028	398,871
営業利益	349,764	283,358
営業外収益		
受取利息	6,892	6,360
受取配当金	32,352	38,483
持分法による投資利益	6,815	26,104
その他	17,518	6,625
営業外収益合計	63,579	77,573
営業外費用		
支払利息	24,982	21,139
有価証券運用損	26,360	1,409
その他	2,006	2,372
営業外費用合計	53,349	24,921
経常利益	359,995	336,011
特別利益		
投資有価証券売却益	3,000	-
事業用資産等譲渡益	-	1 39,151
特別利益合計	3,000	39,151
特別損失		
固定資産除却損	-	20,949
投資有価証券売却損	3,404	-
事業撤退損	-	2 105,928
特別損失合計	3,404	126,877
税金等調整前四半期純利益	359,590	248,285
法人税、住民税及び事業税	105,380	130,869
法人税等調整額	22,146	1,801
法人税等合計	127,527	129,068
少数株主損益調整前四半期純利益	232,063	119,217
少数株主利益又は少数株主損失( )	16,712	64,125
四半期純利益	215,351	183,343

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	232,063	119,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,809	14,670
繰延ヘッジ損益	1,661	4,028
持分法適用会社に対する持分相当額	4,707	15,483
その他の包括利益合計	71,856	34,182
四半期包括利益	160,207	153,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,444	215,967
少数株主に係る四半期包括利益	15,762	62,567

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	359,590	248,285
減価償却費	181,489	164,364
貸倒引当金の増減額（は減少）	150	150
賞与引当金の増減額（は減少）	44,120	46,856
役員賞与引当金の増減額（は減少）	4,737	4,387
退職給付引当金の増減額（は減少）	10,737	4,261
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	16,526	3,807
受取利息及び受取配当金	39,245	44,843
支払利息	24,982	21,139
持分法による投資損益（は益）	6,815	26,104
有価証券運用損益（は益）	26,360	1,409
投資有価証券売却損益（は益）	404	-
売上債権の増減額（は増加）	69,402	86,367
たな卸資産の増減額（は増加）	120,840	25,060
仕入債務の増減額（は減少）	30,346	113,397
その他	106,610	132,054
小計	438,683	627,683
利息及び配当金の受取額	44,084	49,690
利息の支払額	24,810	20,967
法人税等の支払額	592,674	15,516
営業活動によるキャッシュ・フロー	134,716	640,890
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	-	40,000
有価証券の売却による収入	-	41,500
有形固定資産の取得による支出	44,252	83,682
有形固定資産の売却による収入	10	17
投資有価証券の取得による支出	160,981	110,870
投資有価証券の売却による収入	115,645	30,000
定期預金の増減額（は増加）	54,517	51,526
貸付けによる支出	3,000	31,000
貸付金の回収による収入	3,000	8,000
その他	1,063	17,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	33,996	117,048
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	450,000	200,000
短期借入金の返済による支出	450,000	200,000
長期借入金の返済による支出	52,500	52,500
配当金の支払額	90,925	90,925
少数株主への配当金の支払額	3,092	3,092
その他	16,187	18,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	162,704	164,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	331,417	359,010
現金及び現金同等物の期首残高	2,802,531	2,963,074
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,471,114	3,322,085

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	23,538千円	5,947千円
支払手形	44,350千円	26,667千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 事業用資産等譲渡益

平成25年4月1日に当社自動車板金塗装修理事業を(株)NTワークスに移管し、同事業で使用していた事業用資産等の譲渡益を計上しております。

2 事業撤退損

当第1四半期において、自動車教習所事業に携わる従業員の再就職準備金等が、組合との同意に至ったことから計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲載されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金勘定	2,895,149千円	3,587,308千円
有価証券勘定	799,047千円	976,382千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	424,035千円	467,728千円
償還期間が3ヶ月を超える債券等	799,047千円	773,876千円
現金及び現金同等物	2,471,114千円	3,322,085千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	90,925	7	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	90,925	7	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,038,863	573,731	262,896	1,875,491	372,802	2,248,293		2,248,293
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,100	64,291		66,391	63,186	129,577	129,577	
計	1,040,963	638,022	262,896	1,941,882	435,989	2,377,871	129,577	2,248,293
セグメント利益	5,986	273,586	53,190	332,763	20,948	353,711	3,946	349,764

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	980,372	568,462	246,905	1,795,739	255,905	2,051,644		2,051,644
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,100	64,291		66,391	41,325	107,716	107,716	
計	982,472	632,753	246,905	1,862,130	297,230	2,159,361	107,716	2,051,644
セグメント利益 又は損失( )	10,347	306,656	33,510	329,818	43,161	286,656	3,298	283,358

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	16円13銭	13円73銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	215,351	183,343
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	215,351	183,343
普通株式の期中平均株式数(株)	13,351,760	13,351,760
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		13円70銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)		34,225
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 7日

サイボー株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高橋 勝

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 内田 淳一

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイボー株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイボー株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。